

浜松湖北高

地元企業取材、魅力探る

従業員の調和など学ぶ



ピアノ椅子製造の作業工程を見学する生徒ら＝浜松市西区

浜松市北区の浜松湖北高商業科の3年生が23日、市内の企業を訪問し、仕事内容を学び魅力を掘り起こすための取材活動を行った。総合エネルギー会社「エネジン」（同市中区）と協力した取り組みの一環。

同市西区のピアノ椅「なごほ」など、事前が仲良くすることを意識して話した。子製造「名陽木工」を「会社に訪問した人は、同社」長谷川善吉さん(18)はの橋口直広執行役員は「会社について知ること(47)から説明を受けな一つ一つの質問に丁寧に「会社について知ることから工場内を回り、削返答」協調性や人間性がとがで、勉強になった。取材を通し、魅力りや組み立て、塗装なを大切にしている。皆ある企業が地元にも多く一連の作業工程を見が楽しく笑顔で作ればくあることを実感し学した。生徒は「仕事音楽界にも生きると思た」と話した。のやりがい」。「大変う。だから従業員全員(細江支局・吉沢光隆

2020年（令和2年）9月25日（金）静岡新聞